

100年先の 風景をつくろう

札幌で自然と歩む新たな未来を描く
北森カレッジの出張オープンキャンパス

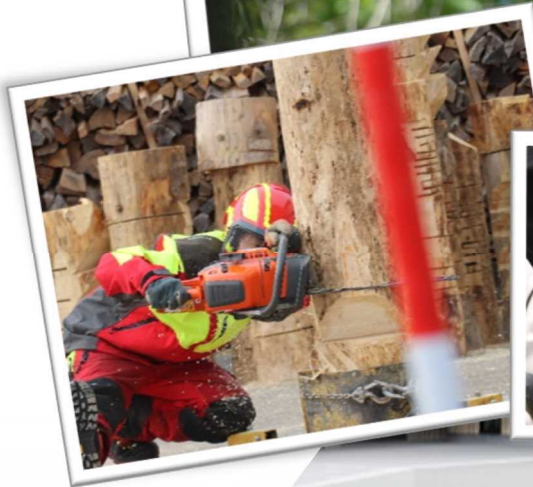


北海道立 北の森づくり専門学院 出張 OPEN CAMPUS in 札幌

R6. 6. 30 日
13:00 ▶ 15:00

北海道林業会館
3階 大会議室

個別相談会
15:15~



<申込方法等>

- 定員 20名
※同伴者1名まで参加可能
- 申込方法
インターネットにて
お申し込みください
- 申込期限
6月26日



QRコードは(株)デ
ンソーウェブの登
録商標です

<会場アクセス>

- 会場 北海道林業会館
札幌市中央区北4条西5丁目1番地



<主なプログラム>

- 学院紹介
- 模擬授業
- 高性能林業機械シミュレーター
操作体験など

<お問い合わせ先>

北海道立北の森づくり専門学院
所在地：北海道旭川市西神楽1線10号
電話：0166-75-6163 (教務課直通)
メール：kitamori.kyomu@pref.hokkaido.lg.jp



Hokkaido College of Northern Forestry

北海道立北の森づくり専門学院

在校生
VOICE

教室でも森の中でも先生に質問攻め!? 「林業女子」として輝くその日のために

高校時代、卒業後の進路に迷っていたのですが、先生から「最近、林業の仕事を勉強する学校ができたよね」と勧められ、オープンキャンパスで北森カレッジを2度訪れました。最初の印象は「校舎がキレイだなあ」。2回目で「ここしかない!」。それまで全く緑のなかった林業、木材関係という選択に、家族は少し驚いて心配していましたが…。入学して実感したのは、ここは自分を成長させてくれる場所だな、ということ。先生方の教え方は上手ですし、わからないことを何度訊いてもいいにわかりやすく説明してくれるので、しつこいかな?というくらい質問攻めにもあります。

実習でチェーンソーを扱う機会がありますが、とても楽しい(笑)。体力的にも問題はありません

し、反復練習により技術の向上に努めています。インターンシップでお世話になった会社でも、木を身近に感じながら働くことに誇りをもっているばかりで、私自身と同じ感覚だな、と。うれしく思うと同時に、林業を仕事として社会に飛び込んでいく自分の選択に改めて自信を持つことができました。

同学年の女子は私を含めて4人。卒業後は「林業女子」として、北海道の森の中で木と関わる仕事をしたいと考えています。



千葉 あやかさん(北海道伊達市出身)

北森カレッジ3つの魅力

北海道がまるごとキャンパス

地域の産学官が一体となった「オール北海道」体制で学生をサポート。道内各地をフィールドとする見学実習・インターンシップを経験して自分に合った地域や就業先を選択します。

フィンランドの林業教育プログラムを導入

気候や地形など北海道と類似点が多い林業先進国・フィンランドの教育プログラムを導入。11台以上の林業機械シミュレーターを備え、安全かつ効率的にスキルを身に付けます。

15の資格が取得可能

- ① 上級救命講習
- ⑥ 不整地運搬車運転
- ⑪ 走行集材機械運転業務
- ② 刈払機取扱作業者
- ⑦ フォークリフト運転業務 選択科目
- ⑫ 簡易架線集材装置等運転業務 選択科目
- ③ 伐木等業務従事者
- ⑧ 荷役運搬機械等によるはし作業従事者
- ⑬ 伐木等機械運転業務
- ④ 玉掛け 選択科目
- ⑨ 機械集材装置等の運転の業務 選択科目
- ⑭ 木育マイスター 選択科目
- ⑤ 小型移動式クレーン運転 選択科目
- ⑩ 車両系建設機械(整地等)運転(3t以上)
- ⑮ 狩猟免許(わな猟)※ 選択科目

※:別途資格試験を受ける必要があります。

在校生
VOICE

チェーンソーを操る自分の姿を思い描き入学 いま理想の将来像に向かって日々成長中

地元豊富な自然に恵まれた環境。小さな頃から緑深い山を身近に感じ、親しんで育ちました。高校時代に林業の仕事に携わる若者をテーマにした映画を観て刺激を受けたこともあり、卒業後の進路について考えた際に「森の中でチェーンソーを使って木を切り倒している」姿が、自分の中で一番しっくりきたんですね。祖母から北森カレッジの存在を教えてもらい、在学生のインタビュー記事を読んで「この学校で勉強しよう!」と決断しました。

実際に入学してみると、想像していた以上に現場で技術を学ぶ実習が多いな、という印象です。高校生の時にイメージしていた自分の将来像に向かって、一步一步前進している実感があります。様々な資格取得に向けてサポートが充

実している点も大きなポイント。学校のカリキュラムをしっかりとこなしていれば、林業を仕事としていく上で必要な資格取得へ導かれていくシステムが整っていると思います。

2年生になり、これから就職に向けて具体的な取り組みが始まりますが、好きなことを学んでいる充実した学校生活を楽しみながら、「森の中で働く自分」の実現に向けて前進していきます。



星 勇輔さん(北海道豊富町出身)